

ハ  
ム  
ラ  
ビ

上  
杉  
隆  
之

# 登場人物表

登場人物	登場回数	役名	担当
羽村 亘 <small>わたる</small>	(27)	連続殺人犯。死刑執行を要求	新井 亘
村木 篤	(52)	死刑廃止論者の大学教授	村木 篤
村木 望美	(23)	村木の娘	村木 望美
黒田 哲雄	(46)	警視庁捜査一課の刑事	黒田 哲雄
仁木 貴志	(27)	所轄刑事	仁木 貴志
新城 暁	(32)	羽村の協力者	新城 暁
秋山 功	(24)	羽村の協力者	秋山 功
北沢 礼司	(37)	ジャナリス	北沢 礼司
高岡 勤士	(64)	死刑廃止論者の弁護士	高岡 勤士
川田 弁護士	(84)	死刑廃止論者の弁護士	川田 弁護士
高岡 久恵	(新)	高岡の妻。殺害される	高岡 久恵
新城 葵	(新)	新城の妻。昏睡中	新城 葵
佐伯 法務大臣	(死)	死刑廃止論者	佐伯 法務大臣
刑事 部長	(特別捜査本部の切っ掛け)		
捜査 係長	(新井 亘の担当)		
取調 官	(新井 亘の担当)		
警護 官 2			
警護 官 1			
ヨシタ オ	(青山)		
ワタナベ	(部下)		
コシノ	(日下)		
ワタナベ	(プロデューサー)		
イシヤ	(相模)		
ヨシタ	(シン)		
コシノ	(イメージ)		
ワタナベ	(真)		
ヨシタ	(相模)		
コシノ	(シン)		
ワタナベ	(プロデューサー)		

ハムラビ

○ 東京拘置所・外観・俯瞰

村木教授の「『\*』の形をした特徴的な建物。現在131名」

○ 東京・実景・都市部・俯瞰

村木の声「現政権の法務大臣は見識が高い方であり、この1年半というものは死刑執行が

○ 閑静な住宅街・俯瞰（朝）

村木の声「しかし、死刑制度そのものを廃止しなくては、命を奪うという最も重大な人権侵害を無くした事にはならない訳です」

○ 高岡弁護士の家・外観（朝）

○ 同・書斎（朝）

村木の声「高岡弁護士は死刑反対に関する書棚の一角を死刑反対に関する本が占めている。ドアが開き、高岡勤（64）が入ってきた。出て行く。本を一冊選んでまた出て行く。本を一冊も熱心な活動をされていた方です」

○ 同・玄関（朝）

久恵「今日は妻・久恵、傘を渡しつつくる高岡「うちで食べるよ」」  
 久恵「（微笑み）わかりました」  
 村木の声「最近のニュースで高岡弁護士の名前をご存知の方も多いでしょう」

ハムラビ

○ 同・リビング

テレビ音声が対して、今朝、東京高等裁判所前では死刑求刑裁判

○ 同・庭  
ふと手を止めてテレビに目を向ける久恵。画面にはプラカードを保持している高岡の姿が映っている。

○ 同・庭  
急いで後ろから手が伸びてきて、急いで口を塞ぐ。

久恵「！」  
と同時に脇腹にナイフを突き立てられる。苦悶の表情で倒れる久恵。生け垣の向こうから通行人の生け垣越しに人影が見える。久恵は力を振り絞って手を伸ばし、声を上げようとする。が、そこへ殺人者の影が現れ、久恵の背中に何度もナイフを突き立てる。

○ 高岡弁護士の家の前（夕）

パトカーが数台停まっている。野次馬たちが集まっている。

○ 同・庭（夕）

鑑識官が現場検証をしている。

ハムラビ

川高 川  
 はすは田岡今 は田  
 見る高 ー ー更重 ー  
 過最岡人：`々奥  
 ご大先の ー降承様  
 すの生命 り知を  
 ん罪、の るし亡川  
 でをあ重 んてく田  
 す国なたをすすれ護  
 か家がで誰 しより  
 ! がしよりも分か  
 ー 犯しよりも分か  
 してう？か  
 い？！人っ  
 事権に  
 を権に  
 先生対の

○ 村  
 を木  
 幾 ー  
 つ彼  
 かは  
 抱死  
 え刑  
 て求  
 いた刑  
 訳が  
 ですけど  
 ー ー ー  
 裁判の  
 弁護

村 死 刑 廢 止 を  
 木 ー  
 デモに  
 モに  
 だに  
 ー ー  
 高岡 ー  
 弁護士は  
 私に  
 そう  
 語り、

○ 市  
 の民  
 是講  
 非座  
 に ー  
 つ犯  
 い罪  
 て心  
 考理  
 え学  
 講座  
 第一  
 回：  
 死刑  
 制度

○ 同・講義室  
 ○ 同・キャンパス案内板  
 ○ 東西大学・外観

○ 同・リビング(夜)  
 雨が降り始める。  
 雨音が響く室内。  
 高岡、事情聴取が上の空の様子。  
 その向かいに座っている高岡の刑事。  
 ソファに座っている高岡。

ハムラビ

村	○	記	○	望	テ	○	高	川高川高川高
か変木		の事		でてれさ美	本レ		岡下しの任田岡田岡田岡	
らえー	東	弁ー	新	すお以れー	日ビ	村	ーさて立すーーーーー	
死た最	西	護高	聞	、り上たえ	付音	木	：いど場るしわ：：高：	
刑例後	大	も岡	記	、の事	け声	邸	：ーれで必かか：妻岡：	
廃をに	学	辞弁	事	弁弁で：	でー	・	へだ死要しっを先ー	
止出、教	・	任護新		村だ護護死高ト座ソ辞府つ村	辞中事、	リ	眉け刑は：て殺生	
へし死壇	講	士聞		木っ団の刑岡をっフアし事、	任中事、	ビ	を影止いしれた！	
とま刑に	義	府片		写ー辞続対護てタでは娘の表望しましたー	任中事、	ング	そ響をでかー人ー	
意し反立	室	中隅		真立を困るはる。ト端末でネッ	任中事、	（夜）	め力訴しよすね、の弁	
見た対つ		事件小		の妻の顔をみる。	任中事、		があたうすね、の弁	
をがから		にさ			任中事、		るな？ね、の弁	
変、ら木		続い			任中事、		から今、の弁	
えも容。		き記			任中事、		考、の弁	
るち認		事			任中事、		え社高護	
人ろへ		事			任中事、		て会岡団	
々んと		塚			任中事、		みに先を	
も賛意		事件			任中事、		て対生辞	
沢成見					任中事、			
山派を					任中事、			

ハムラビ

村羽	村羽		村	羽	村羽	声	○	○	村	村		
木村	刑木	にに	うね	のの	木	え村	木村		考木	す   た	木	いる
「	「	は入	と飛	は車	「	る「	「	同	え「	°し	状「	「
「	「	助れ	しば	未に	私	ん教	(質	村	る本	そか	況個	訳
ど	「	け`	たさ	成跳	は	で授	にこ	木	き日	れし	に人	で
ん	「	妻	それ	年ね	妻	しは	こや	教	っの	が`	よの	す
な	れ持	つを	うた	で飛	をに	しは	よ家	と振	か講	私死	つ考	「
理	とち	も下	だ妻	`ば	亡決	よ家	ろ族	り「	け義	室の	刑て	多講
由	もが	り敷	`は	シさ	く然	の	かを	そ向	にが	を信	は変	はい
が	思な	だき	が体	ンれ	しと	表	?殺	こく	な`	見念	無化	様°
あ	わい	っに	をナ	たて	答	情	「	に村	っ死	回で	くす	々
ろ	なと	たし	少起	しん	い	え	が	は木	た刑	すす	する	で
う	いは	とた	年こ	をだ	る	一	「	羽°	らに	村「	べ事`	表
と	「言	い°	はし	吸°	瞬	も	「	村	幸つ	木	きも	そ
人	わ	う弁	ギて	っ運	「	曇	死	が	いい°	もあ	の	情°
を	ない	事護	ア助	て転	無	る	刑	立	でて	の	る人	う
殺	が	「の	バを	たて	許	、	反	っ	すの	とで	の	な
し	、	言ッ	呼°	い運	「	す	対	て	「是	考し	置	く
て	死	うク	ぼ跳	た転	ぐ	唱	を	い	非	えよ	かれ	人
は									を	まう	れ	

ハムラビ

男	容反	○	声声	○	○	羽村羽	村羽村	羽村羽
懲	認対	東	ー	タ		き村木村	木村木村	い
役	派派	京	ー	イ		で	ー	ー
1	ー	高	押そ正	ト		す	君：	どど
	被害刑	等	すれ義	ル		ー	は：	んん
		裁	なはを	消		命	別	ななん
テ		判	よこ振騒	え	が	を	の	理理
レ		所	！つり々	て	暗	奪	考	由由
ビ			押ちかし	黒	浮	つ	ゝ	がが
の			すのざい	バ	か	た	射	ああ
取			なセすな	ッ	ぶ	者	ど	ろろ
材			っりな	ク	°	は	い	うう
を			てフ！	の		自	な	とと
受			だ！	み		分	い	と？
け			ー！			の	よ	ー
る			ー			命	ー	う
双						で		だ
方						贖		ね
。						う		
						べ		



ハムラビ

○ 川田弁護士事務所（夜）

支援者たちが集まり、祝賀ムー  
 ドで歓談している。川田が握手。  
 輪の中心には川田と握手。  
 村木教授が来て、川田と握手。  
 村木教授もいますし、佐伯法務  
 大臣もいます。次は府中事件  
 大田裁判官のお話で  
 村風は我々の方に吹いてますし  
 村木と川田、笑顔で乾杯。ビ

○ 雑居ビル・外観（深夜）

ビル看板の一つに「川田弁護士  
 事務所」と記載。川田が出て来る。  
 ビル玄関から川田のいい表情で歩  
 酒に酔い、機嫌のいい表情で歩  
 道を歩き出す川田。

○ 道路（深夜）

歩道を歩く川田。  
 川田の後ろにヘッドライトが  
 見える。エンジンとスピードを上げて  
 グングンとドライブが迫って来る。  
 ヘッドライトが後ろを振り返る。  
 川田、思わず後ろを振り返る。  
 路地から派手な帽子を被った  
 男が急に現れる。

川田「！」

突き飛ばされて車道に転がる  
 川田。立ち上がるようにするが、猛スピ  
 ードで走って来る自動車に跳  
 ね飛ばされる。

○ 車載カメラの映像

ハムラビ

刑 た事 手部 紙長 が「 高先	○	刑 事 の 声 「 動	○	動 画 「 幕 我	刑 日事 。の   声 交「 通こ	○		
岡日マの 事、イ黒 件当ク田 の動を哲 帳画持雄 場にア刑 にド事部 届けレ事 られス長 「が書 「か れ	○	奥の長機に座る刑事部長、捜査 一課長、署長、幹部達。の犯 プロジエクタ・スクリーンの犯 行を明動画を見ている刑事達。 眉をひそめる所轄刑事の仁木 貴志（27）。その隣で表情を 変えず見ていた捜査一課刑事 の黒田哲雄（46）	○	○ 殺すれ受ける事に入て執行間、死刑執行を要する人が 捜査本部の事件名「死刑要求連 続殺人事件の特捜本部「	○	○ 画面に飛び出される川田。 画面が映し出されている映像が 動画的に映し出されている。映像が 「ニコニコチュウ ブが跳ね飛ばされている。 川田が跳ね飛ばされている。映像が アッが跳ね飛ばされている。映像が れが投稿されたのが先週の水曜 事故のあった2日後です「 動画面、暗転して文字が流れる。 が国は死刑制度があるにも関わ 半の間に死刑執行が3人こな 執行待ち、死刑執行が3人こな に待たれしな刑執行を要する人 なられしな刑執行を要する人 なるなられしな刑執行を要する人	○	○ 画面に飛び出される川田。 画面が映し出されている映像が 動画的に映し出されている。映像が 「ニコニコチュウ ブが跳ね飛ばされている。 川田が跳ね飛ばされている。映像が アッが跳ね飛ばされている。映像が れが投稿されたのが先週の水曜 事故のあった2日後です「 動画面、暗転して文字が流れる。 が国は死刑制度があるにも関わ 半の間に間に死刑執行が3人こな 執行待ち、死刑執行が3人こな に待たれしな刑執行を要する人 なられしな刑執行を要する人 なるなられしな刑執行を要する人







ハムラビ

刑	黒	○	黒	○	○	○	○	○
院産ま事	も口寝田		ち対田					
中。す1	確してー	捜	よ象ー	マ				
。妻。ー	認ワい1	査	つの羽	ン				
頻本当新	。した0	本	と皆村	シ				
繁人時城	羽クと日	部	おささ	ョ				
には、曉	村にの深立	(夜)	答んん黒ド	ン	ド	町	玄	仏
見意妻。×	亘行事夜っ		え全？田ア	・	ア	中	関	壇
舞識は	のっ。に		頂員 と開	ド	ア	を	口	前
に妊府×	で先関報		けにお仁開	ア	チ	歩	で	で
に娠中×	ま月し告		ますい間、	前	ヤ	く	話	手
行ら中事	録。5はて		かて、警		イ	ム	を	合
ていあで	にハ日ア		？る取察		ム	を	聞	わ
おまり妻	残口はリ		「事らせ		を	鳴	く	せ
、現胎襲	っ 飯バ黒		ですま		らす	らす	刑	刑
先在児わ	てワ田イ田		すんで		刑事	刑事	事	事
月もはれ	ま 橋のし		、		達。	達。	達	達
1入流て	「にハ。				を	を	下	下
					降	降	げ	げ
					る	る	る	る
					黒	黒	黒	黒
					田	田	田	田
					と	と	と	と
					仁	仁	仁	仁
					木	木	木	木
					を	を	を	を
					下	下	下	下
					げ	げ	げ	げ
					る	る	る	る
					黒	黒	黒	黒
					田	田	田	田
					と	と	と	と
					仁	仁	仁	仁
					木	木	木	木
					を	を	を	を
					下	下	下	下
					げ	げ	げ	げ
					る	る	る	る
					黒	黒	黒	黒
					田	田	田	田
					と	と	と	と
					仁	仁	仁	仁
					木	木	木	木
					を	を	を	を
					下	下	下	下
					げ	げ	げ	げ
					る	る	る	る
					黒	黒	黒	黒
					田	田	田	田
					と	と	と	と
					仁	仁	仁	仁
					木	木	木	木
					を	を	を	を
					下	下	下	下
					げ	げ	げ	げ
					る	る	る	る
					黒	黒	黒	黒
					田	田	田	田
					と	と	と	と
					仁	仁	仁	仁
					木	木	木	木
					を	を	を	を
					下	下	下	下
					げ	げ	げ	げ
					る	る	る	る
					黒	黒	黒	黒
					田	田	田	田
					と	と	と	と
					仁	仁	仁	仁
					木	木	木	木
					を	を	を	を
					下	下	下	下
					げ	げ	げ	げ
					る	る	る	る
					黒	黒	黒	黒
					田	田	田	田
					と	と	と	と
					仁	仁	仁	仁
					木	木	木	木
					を	を	を	を
					下	下	下	下
					げ	げ	げ	げ
					る	る	る	る
					黒	黒	黒	黒
					田	田	田	田
					と	と	と	と
					仁	仁	仁	仁
					木	木	木	木
					を	を	を	を
					下	下	下	下
					げ	げ	げ	げ
					る	る	る	る
					黒	黒	黒	黒
					田	田	田	田
					と	と	と	と
					仁	仁	仁	仁
					木	木	木	木
					を	を	を	を
					下	下	下	下
					げ	げ	げ	げ
					る	る	る	る
					黒	黒	黒	黒
					田	田	田	田
					と	と	と	と
					仁	仁	仁	仁
					木	木	木	木
					を	を	を	を
					下	下	下	下
					げ	げ	げ	げ
					る	る	る	る
					黒	黒	黒	黒
					田	田	田	田
					と	と	と	と
					仁	仁	仁	仁
					木	木	木	木
					を	を	を	を
					下	下	下	下
					げ	げ	げ	げ
					る	る	る	る
					黒	黒	黒	黒
					田	田	田	田
					と	と	と	と
					仁	仁	仁	仁
					木	木	木	木
					を	を	を	を
					下	下	下	下
					げ	げ	げ	げ
					る	る	る	る
					黒	黒	黒	黒
					田	田	田	田
					と	と	と	と
					仁	仁	仁	仁
					木	木	木	木
					を	を	を	を
					下	下	下	下
					げ	げ	げ	げ
					る	る	る	る
					黒	黒	黒	黒
					田	田	田	田
					と	と	と	と
					仁	仁	仁	仁
					木	木	木	木
					を	を	を	を
					下	下	下	下
					げ	げ	げ	げ
					る	る	る	る
					黒	黒	黒	黒
					田	田	田	田
					と	と	と	と
					仁	仁	仁	仁
					木	木	木	木
					を	を	を	を
					下	下	下	下
					げ	げ	げ	げ
					る	る	る	る
					黒	黒	黒	黒
					田	田	田	田
					と	と	と	と
					仁	仁	仁	仁
					木	木	木	木
					を	を	を	を
					下	下	下	下
					げ	げ	げ	げ
					る	る	る	る
					黒	黒	黒	黒
					田	田	田	田
					と	と	と	と
					仁	仁	仁	仁
					木	木	木	木
					を	を	を	を
					下	下	下	下
					げ	げ	げ	げ
					る	る	る	る
					黒	黒	黒	黒
					田	田	田	田
					と	と	と	と
					仁	仁	仁	仁
					木	木	木	木
					を	を	を	を
					下	下	下	下
					げ	げ	げ	げ
					る	る	る	る
					黒	黒	黒	黒
					田	田	田	田
					と	と	と	と
					仁	仁	仁	仁
					木	木	木	木
					を	を	を	を
					下	下	下	下
					げ	げ	げ	げ
					る	る	る	る
					黒	黒	黒	黒
					田	田	田	田
					と	と	と	と
					仁	仁	仁	仁
					木	木	木	木
					を	を	を	を
					下	下	下	下
					げ	げ	げ	げ
					る	る	る	る
					黒	黒	黒	黒

ハムラビ

村 司 村 パ 村 司 パ パ  
 たのの木のり会木ネたす擁木まの会一ネの本ネ  
 態命命 ー呑も ー ーラ態 °護 ーしブ者番ラ命心ラ  
 度をををテん重政守 | 度 | をこよレ ーじ | をで |  
 を守犠ロだい府る 3 でテ訴のう | なや 2 取す 1  
 取り牲リ事もはと ー接ロえ事 ー ンるな ー るよ ー  
 るつにスがのかい死しリる件 でほいその | 我達の中央  
 べつすとりとて言囚くト々単 あ、ねら ー 市が着机に司  
 き、る | 交まし、いをてとをな り村え辺 のりし村木が着席。その  
 でテ | 渉して人方守はは狙る ま木? は の命たをいのは。法務大刑の  
 りリはした、のをはるい交つ犯す教 ー 村 木 先 生 に 聞 く の 刑 臣 の  
 まスあながテ命違つけ渉た罪 の授 木 先 生 に 聞 く の 刑 臣 の  
 しトリい、ロのいてませ言で、佐伯法務大刑の  
 てにまイ今リ重ま事せず論は、ご意見伺い臣が  
 、はせコ回スさは ー ー 毅 然 と し 権  
 そ毅ん | はトは ー ー 毅 然 と し 権  
 の然 °ル? の地 ? とロ人 伺い臣が  
 たと市市 ー 要球 ? とロ人 伺い臣が  
 めし民民 求よ ー し 権

○  
 テレ  
 ビの  
 討  
 論  
 番  
 組  
 (夜)

討奥コ破イ片キ  
 論にンリン手ツ  
 番あロ、ス鍋チ  
 組る前片タの  
 のテに立鍋にお  
 声レちに入ら、の  
 がビをながる、部  
 聞こえる新 °屋  
 える新 °屋  
 の袋を

○  
 新  
 城  
 の  
 部  
 屋  
 ・  
 安  
 ア  
 パ  
 ー  
 ト  
 (夜)

関病 5  
 し院 日  
 てでに  
 は証 関  
 ア言し  
 リもて  
 バ得も  
 イら妻  
 無れの  
 しま見  
 °し舞  
 以たい  
 上 °に  
 で 1 行  
 す 0 っ  
 ー 日 て  
 深 ま  
 夜 す  
 に °





○ 村 警 官 2 「わ かり ました。それでは、構内では、

木 ま 何 か 2 「 わ かり ました。それでは、構内では、

警 察 署 ・ 駐 車 場 「 :

○ 同 ・ 玄 関 (朝)

○ 村 木 の 家 ・ 外 観 ・ 日 変 わ り (朝)

○ 係 刑 刑

行 長 っ 事 て あ 事 を ち ビ 告 る の

う 「 警 護 対 象 捜 査 主 任 の 係 長 が 立 ち 上 が り 、

担 当 は 、 黒 田 と 仁 木 | 朝 倉 と 清 水 |

運 転 し て 行 く の は 新 城 。

製 菓 会 社 の ラ イ ト バ ン が ゆ っ

村 木 が 出 て 来 る 。

ス ケ ュ ー ル を 渡 す 村 木 。

中 大 構 内 は い ち と 一 緒 で

彼 ら が ボ デ ィ ガ ー 。

警 官 1 と 2 、 お 互 い 、 チ ラ リ と

目 線 を 交 わ す 。

そ う だ ろ す よ | 。

そ う だ ろ す よ | 。

○ 同 ・ 玄 関 (朝)

○ 村 木 の 家 ・ 外 観 ・ 日 変 わ り (朝)

○ 係 刑 刑

行 長 っ 事 て あ 事 を ち ビ 告 る の

う 「 警 護 対 象 捜 査 主 任 の 係 長 が 立 ち 上 が り 、

担 当 は 、 黒 田 と 仁 木 | 朝 倉 と 清 水 |

運 転 し て 行 く の は 新 城 。

製 菓 会 社 の ラ イ ト バ ン が ゆ っ

村 木 が 出 て 来 る 。

ス ケ ュ ー ル を 渡 す 村 木 。

中 大 構 内 は い ち と 一 緒 で

彼 ら が ボ デ ィ ガ ー 。

警 官 1 と 2 、 お 互 い 、 チ ラ リ と

目 線 を 交 わ す 。

そ う だ ろ す よ | 。

そ う だ ろ す よ | 。

警 察 署 ・ 駐 車 場 「 :

○ 同 ・ 玄 関 (朝)

○ 村 木 の 家 ・ 外 観 ・ 日 変 わ り (朝)

○ 係 刑 刑

行 長 っ 事 て あ 事 を ち ビ 告 る の

う 「 警 護 対 象 捜 査 主 任 の 係 長 が 立 ち 上 が り 、

担 当 は 、 黒 田 と 仁 木 | 朝 倉 と 清 水 |

運 転 し て 行 く の は 新 城 。

製 菓 会 社 の ラ イ ト バ ン が ゆ っ

村 木 が 出 て 来 る 。

ス ケ ュ ー ル を 渡 す 村 木 。

中 大 構 内 は い ち と 一 緒 で

彼 ら が ボ デ ィ ガ ー 。

警 官 1 と 2 、 お 互 い 、 チ ラ リ と

目 線 を 交 わ す 。

そ う だ ろ す よ | 。

そ う だ ろ す よ | 。

ハムラビ

黒田「あ、り、が、と、う、ご、ざ、い、か、ま、す、。直、接、行、っ、て、み、

職員「出、た、ま、せ、な、い、。今、ち、よ、う、に、講、義、が、

○ 同・学務部窓口に黒田と仁木。

○ 同・キャンパスで学生に囲まれ、和やかな雰囲気

○ 同・廊下 教壇に立ち講義する村木。

○ 同・教室

○ 東西大学・キャンパス

黒田「こういう風に乗りに乗らな、い、と、商、売、に、な、

仁木「：はい」

黒田「そういう人であ、っ、て、も、守、る、の、が、警、察、だ、」

仁木「こ、な、い、。ハ、ッ、キ、リ、言、っ、て、ん、で、す、け、ど、」

仁木「この教授、歩、い、て、い、る、黒、田、と、仁、木、。ト、ッ、プ、な、ん、で、

と、書、類、を、黒、田、に、見、せ、る、。そ、の、

書、類、は、警、護、対、象、者、リ、ス、ト、。そ、の、

ト、ッ、プ、に、は、村、木、の、名、前、が、あ、る、。

ますんで」と、一礼する。

○ 同・キャンパス

警官1と2が歩いてい  
る。視線の先には村木が  
いる。と、携帯電話の着  
信音。

警官1 「ホン トですか？」

携帯電話の顔を覗き込  
む警官1。警官2。

警官2 「どうし 携帯電  
話を切る警官1。

警官1 「容疑者 逮捕し  
た？」

警官2 「ええ、男を確保  
したそうだが」

「追って連絡あるまで  
対象警護続行だ」

○ 同・研究室棟・エレベ  
ーター前

村木が立っている。エ  
レベータードアが開き、  
村木が乗り込む。ドアが  
閉まる直前、スリッパの  
音が聞こえる。正面を向  
く。新城だ。

○ 同・エレベーター内

村木を横目で見る新城。

新城 「…」

操作パネルは8階のボタ  
ンが光っている。2階、3  
階と上がって行く。ポ  
ケットからナイフを取  
り出す。新城を見る。

村木 「…？！」

○ 同・研究室棟・8階廊下

チラッとして新城の方を見る村木。  
が、携帯電話に出ない新城が鳴る。  
揉み合いに着る。アが開く。  
8階に到着。村木と新城。  
ナイフが迫る。  
外へ出ようとする。村木が転がる。  
携帯電話の着信。新城は

○ 同・エレベーター内

研究室内前で待っていた黒田と  
仁木、エレベーター内の異変に  
気が付き駆け出す。

仁新城  
木城 「…？！」

倒れている村木の半身が邪魔  
で、ドアを開けようとする。  
ボタンの押し間違い。一階と二階の  
ドアが閉まりかける。  
お、！ ドアをこじ開ける。  
と、！ ドアをこじ開ける。  
無防備な仁木の腹目がけてナ  
イフを突き出す。新城の  
慌てて下がり尻餅をつく仁木。  
ナイフを突き出した新城の手  
を掴む黒田。  
グイと捻りながら新城を中か  
ら引き倒れる新城。  
床に倒れる新城。





○ 警察署・廊下

自動車が電柱に激突している。  
警察鑑識官が現場検証中。  
運転席に座る中年男性は両手  
をハンドルに縛られている。  
耳を切り取り、首の切り傷か  
ら血を流して絶命している。

○ 道路

警官が入室。  
デスク席にB5の厚紙封筒を  
届ける。担当刑事、封筒の中を覗  
いで表情を強張らせる。  
耳が転がり出ている。

○ 警察署・捜査本部・日変わり

部長「微妙な笑み」まあ、もう少しお待ち下さい。  
記者「新城容疑者なんです。噂があります」  
記者「新城容疑者なんです。噂があります」  
刑事部長がマスコミ記者と一  
緒に歩いている。

○ 警察署・廊下

新城「官喋る気になったのか？」  
取調官「予断を許さん、状況、だそうだ」  
新城「うか？葵の、取調官の容態は、どうなんですし  
椅子に座る新城。来る。どうなんですし

ハムラビ

テ  
 経コん投レ  
 由ンが稿ビ  
 さを、し音  
 れ解本た声  
 た析日容「  
 だし釈疑死てテ食  
 けた放さ逮要るレ事  
 で所、れ捕求。のニユース番組が流  
 あ、那ましれたの犯行声明動  
 た須した。い犯行声明動  
 事さ。押収し健康太  
 がん。の押収し健康太  
 判パソコソ  
 明ソソソ  
 ンソソソ  
 はソソソ

○ 定食屋（夜）

○ 東京・実景（夜）

刑 係 係  
 事 い長 て被長  
 部 て「 送害「先  
 長 い犯 り者日、  
 「 る人 主は畑捜  
 し っは っは武査イ切  
 っ隣てま捜、連夫查本ト取  
 かの事だ、員のたの送ドれ  
 り刑だ、のうちののとり貼  
 し事！うののの確つけら  
 、部！「ののの認さられた。耳  
 おがう苦とい表情。耳が  
 前机うと街中をうろっ  
 ！叩き、

○ 警察署・捜査本部（夜）

動  
 のが行なを画  
 命出しい待字  
 をるた様っ幕  
 秤。子て「  
 に改死。い法  
 かめ刑よた務再動  
 けて執つが省生画  
 ろ政行て、の面投  
 「府を警い慎にサ  
 告な通にな文イ  
 ぐけりな協字ト  
 。れ第つ議が。  
 市ば三てと流  
 民、のもやれ  
 と更殺結らる。  
 死に人論の。  
 刑犠をは結  
 囚牲遂出果

○ パソコン画面

今取刑  
 回は囲部  
 苦ま長  
 りれが  
 きてマ  
 っ歩ス  
 たたいコ  
 表情。ミ  
 。取  
 。材  
 陣に





ハムラビ

黒村 黒村 黒  
 田 木 田  
 「く」で東「ここの学食は、我々も入って見ましたか？  
 「から大丈夫」大学の学食に、一々入って見ましたか？  
 「微笑み」すかよ。近所の方とかも使ってた  
 「微」で、夫、の学食は、我々も入って見ましたか？  
 「笑」すかよ。近所の方とかも使ってた  
 「み」すかよ。近所の方とかも使ってた

○ 黒村 黒  
 田 木 田  
 「ここの学食は、我々も入って見ましたか？  
 「から大丈夫」大学の学食に、一々入って見ましたか？  
 「微笑み」すかよ。近所の方とかも使ってた  
 「笑」すかよ。近所の方とかも使ってた  
 「み」すかよ。近所の方とかも使ってた

○ 黒村 黒  
 田 木 田  
 「ここの学食は、我々も入って見ましたか？  
 「から大丈夫」大学の学食に、一々入って見ましたか？  
 「微笑み」すかよ。近所の方とかも使ってた  
 「笑」すかよ。近所の方とかも使ってた  
 「み」すかよ。近所の方とかも使ってた

○ 同・講義室 陽光の下、学生達が歩いている。















ハムラビ

村	日	村	日	司	村	司	司	司	○	村	記	○																						
で	求	木	下	木	民	は	下	と	で	誘	死	木	対	下	字	そ	会	方	木	仰	7	会	会	○	村	記	○							
す	す	┌	部	┌	意	結	部	思	あ	導	刑	┌	す	部	に	う	者	が	┌	つ	8	者	者	ワ	木	対	与	わ	者	2	東			
よ	る	：	┌	し	に	果	┌	わ	れ	的	容	：	る	┌	な	し	┌	多	こ	て	%	「	視	ド	木	対	を	し	れ	た	┌	西		
°	の	°	こ	か	支	が	それ	ば	な	認	確	賛	し	つ	た	襲	く	の	ま	が	す	犯	者	シ	木	対	え	訴	て	た	┌	大		
違	は	ど	こ	し	持	出	れ	ま	、	設	は	か	否	か	た	村	わ	て	番	す	犯	者	ヨ	木	対	え	え	い	訳	で	日	別		
い	人	こ	は	、	さ	て	は	す	死	問	8	に	を	し	と	木	れ	嬉	組	┌	人	か	と	コ	木	対	ん	死	す	、	け	別	村	
ま	を	の	日	フ	れ	る	あ	┌	刑	に	5	内	調	逆	も	教	て	し	の	視	要	求	に	T	木	対	勿	で	刑	が	、	木	い	記
す	殺	国	本	ラ	て	ん	な	止	る	で	府	す	で	え	の	な	で	聴	者	の	従	う	V	木	対	論	し	が	求	も	教	る	者	
か	す	で	だ	ン	い	だ	た	の	数	し	に	る	す	ま	ブ	お	す	者	の	皆	さ	ん	は	理	性	の	で	う	か	？	れ	が	新	城
┌	に	同	フ	で	つ	┌	希	数	字	た	よ	と	ね	す	レ	死	ね	の	刑	┌	皆	さ	ん	は	理	性	の	タ	、	村	木	、	日	下
賛	じ	ラ	は	て	こ	望	字	で	。	る	ま	、	ね	な	刑	┌	皆	さ	ん	は	理	性	的	な	と	ス	タ	ジ	オ	？	れ	が	新	城
成	で	ン	┌	事	れ	で	は	す	し	世	る	通	、	い	反	対	を	勢	を	は	理	性	的	な	と	タ	ジ	オ	？	れ	が	新	城	
す	す	ス	┌	で	は	し	も	。	か	論	で	常	こ	姿	対	を	勢	を	は	理	性	的	な	と	タ	ジ	オ	？	れ	が	新	城		
る	。	じ	す	現	よ	？	つ	公	し	調	逆	時	れ	勢	を	は	理	性	的	な	と	タ	ジ	オ	？	れ	が	新	城	容	疑	者		
事	死	や	？	行	？	と	正	、	査	で	、	┌	が	訴	こ	え	の	る	数	。	と	タ	ジ	オ	？	れ	が	新	城	容	疑	者		
と	刑	な	┌	度	査	が	設	れ	は	よ	刑	に	数	。	と	タ	ジ	オ	？	れ	が	新	城	容	疑	者	死	に	も	ら	襲	反		
同	を	い	┌	度	査	が	設	れ	は	よ	刑	に	数	。	と	タ	ジ	オ	？	れ	が	新	城	容	疑	者	死	に	も	ら	襲	反		
じ	要	┌	が	で	る	問	は	、	┌	に	数	。	と	タ	ジ	オ	？	れ	が	新	城	容	疑	者	死	に	も	ら	襲	反	関	襲	受	

ハムラビ

佐伯	○	村木	プ	村木	速報	村木	プ	村木	プ	○	日下	村木	日下
一	法務省	一	願	一	一	一	一	一	一	テ	部	一	部
死	省	：	い	：	法	：	か	：	ユ	レ	一	す	一
刑	・	一	ま	一	務	：	の	一	述	ビ	：	一	考
執行	記者	落胆	と	す	一	は	ニ	流	テ	局	：	れ	人
行	者	し	、	°	一	今	ユ	レ	す	・	一	は	々
に	会	、	退	お	：	朝	一	レ	か	控	：	つ	は
伴	見	う	室	疲	：	ス	い	で	ら	え	：	ま	殺
う	室	な	°	れ	で	二	速	る	、	室	：	り	し
手	(夜)	だ	様	で	、	人	報	の	の	室	：	戦	て
続	土曜	れ	、	また	、	の	の	音	°	控	：	争	も
き	曜	る	、	、	よ	死	刑	を	執	え	：	に	い
の		村	、	よろ	ろ	刑	を	執	行	室	：	い	え
法		木	、	ろ	し	を	執	行	一	室	：	な	と
務		°	、	ろ	く	を	執	行	一	室	：	が	い
大			、	ろ	く	を	執	行	一	室	：	つ	う
臣			、	ろ	く	を	執	行	一	室	：	て	考
鑑			、	ろ	く	を	執	行	一	室	：	い	え
み			、	ろ	く	を	執	行	一	室	：	く	が

ハムラビ

佐村佐村	○	○	○	動	○	○
伯木伯木				のをれぎさ画		断でるのまにて
「「「の	ホ	高	東	命殺なはれ文	パ	を、のです済、
じえそ声	テ	層	京	をすけ許る字	ソ	し引がはがま残
やえう「	ル	ビ	・	秤。れさま「	コ	てき適ご今せり
、「か大	・	ル	実	に三ばなで全	ン	い続切ざ回る1
：？佐臣のれテ	部	群	景	かた、い私て再動	画	くきでいの事2
こ「伯、ウて「	屋	(夜)	(夜)	けびま。のの生画	面	所慎はま執は9
れ法私イスル	(夜)			ろ政た一活死画投		存重なせ行困名
で務はスル				「府一週動刑面稿	皆画集パ	でないんは難の
「大臣構「ひ				に人間は囚に文イ	「面まソ	あ検ケ。犯で死
のでがと				ぐ罪間わ対字ト	一をっコ	り討「人人のり執
手す注つ				。のにらしが。	様覗てン	す則も的要ま行
がのがの				市な死なて流	にきこる。	「っごに求すを
止でれ方				民い刑い死れ	険しんでいる	てざみを。短
ま「るに				と一執。刑る	顔。いる刑事	執行て呑繰期の
る。琥				死般行時執。		行ま執んり
。珀置				刑市が間行		のす行だ返う
色か				囚民さ稼が		判のすもしち



○ 係 黒 係 黒 係 黒  
し長反田長 田長田  
羽 | 一 応 一 一 一 一 一  
村 俺： が 羽 言 だ あ こ  
の は わ 何 村 っ っ あ れ  
マ シ か か で て た 一 か  
ン ロ っ あ す た と ら ら 後 歩  
シ だ た れ ° 奴 、 、 新 ろ い  
ョ と 、 ば | か 似 こ 城 か て  
ン 思 見 教 見 一 顔 れ の ら い  
う せ え せ 絵 、 取 黒 る  
ぞ て て る を 見 調 田 搜  
一 み 下 だ 見 せ べ が 査  
よ さ け せ て 駆 一  
う い で る み す け 課  
° 一 結 ° て よ 寄 係  
が 構 ° 下 さ ね り 長  
、 で 下 さ ? 、 °  
し す い 一  
か ° 一

小ア作  
さメ業  
なリ場  
カカの  
プから  
セルの  
が小包  
作業台  
に乗

○ 佐村 佐村 佐村 佐 村  
伯木よ伯木伯木伯 木にっだ  
警 一 一 ° 一 一 一 一 一 一 木にっだ  
察 助： 俺 死 私 問 え | 一 な と ? ン い 一 一 じ 犯  
署 かわは 刑 が 答 え ぜ 輩 ん 逮 察 俺 料 か 論 な は  
・ る か 政 廢 ? 集 一 ミ ° の 捕 は が く し で い 気  
廊 一 り 治 止 | で で 水 と | だ し 何 こ ら 、 す だ が  
下 ま 家 を お も 議 を 、 落 ! て を ん い 野 一 ろ 狂  
し で 訴 こ 作 論 一 自 ち 一 く や な に 党 ? っ  
たい え が っ し 息 分 着 れ っ に か 連 の の  
一 る る ま て て に の い ば る 一 づ な 思 中 の か  
が は い ら 頃 む ツ 一 ン ? こ だ な き な 責 べ  
長 專 で え が 佐 伯 を 渡 す ° 面 警 察 ら だ 立 て る  
過 門 す る か 一 な し い な 一 事 と の ! る も  
た ろ 一 ? 一 頼 一  
一 ? 一 頼 一





ハムラビ

北羽 北羽北 羽北 羽北 羽北 羽北 北 北 羽北 羽北 羽北

沢村職にし沢ね村沢いこて村沢 | のフの村沢命村沢塗村沢村を | 沢 北 羽北 羽北 羽北

「分知か ° 「ううて 「 | 経ルが 「 感 「 る 「 「 北 沢 受と 「 沢

そそでらし確 | 養 : 感 | 、そ : ど 営エあ私 : 、やえよなえ 「 沢 けこなる

んのすし、かど鶏 : じ | 経の : こ者ンっ、 : でっ : うん 「 沢 けてろる

なたよめ事にん場なの世営養 「 かにザて北 「 すぱ ? なで さんくでほ

事め 「 る件、なの に、間者鶏 の粘がで沢 かり 「 取、 カテ

はな と当あ気経がねに、場の 局り流すさ ? 、 材被 する今、ラ | ×

言ら い時れ持営仰え代方が の強行ねん 「 ジ を害 にお聞 きはりなつての ×

っ人 う者はち者り 「 わへ発 ワくっ | の イ取た | 取 ナ りす者 族

てが のに不でのた、の生 ド材時何材 リ んの の心 の傷 に、 塩

な死 が肉幸し方い、て突源 シさに年で ス ト と し て の 使

いん ジ薄なた、ん 断撃だ ヨれ、前印 して特か象 残 鳥 いて

「でも | て来 「 殺す し材み | てま定なに、残 鳥 いて

構 ナ、事 しか ますんい たた養鳥 っ

わ リ一で ま ? 、かに たた鶏 場

ない ト大た た、つ 「 よ ね 場

「 の衆 ° よ て、つ 「 ね 場

北 沢 っ 設 村 沢 ま 村

「 た に 「 「 で 「

え | 入 あ 児 お あ

え | 所 あ 童 話、

「 だ し、 擁 し 失

して そ 護 ま 札

た、 う 施 し し

ね ば す に だ し

「 ら ね 入 し た

く、 っ よ °

は は て う え

誰 い | ? |

と、 | 「、

も 児 「 っ

喋 童 っ

れ 擁、

な 護 ど

か 施 こ



ハムラビ

佐	議		佐	議	佐	議		佐		○	北羽	北羽	北羽	北羽									
伯	の	員	も	人	た	そ	充	伯	は	な	員	伯	る	い	員	願	刑	す	死	矯	書	こ	伯
「	民	」	の	権	要	の	分	「	賛	い	「	「	の	「	い	を	。	刑	正	と	れ	「	
：	が	そ	で	の	求	よ	な	死	成	で	聞	そ	で	の	そ	た	行	よ	執	局	い	に	死
「	3	ん	ご	尊	に	う	国	刑	し	す	こ	ん	は	で	れ	い	え	っ	行	、	う	は	刑
	人	な	ざ	重	屈	な	民	に	て	か	う	な	な	、	は	「	る	て	命	保	も	刑	執
	も	風	い	と	し	状	的	関	い	？	と	話	い	大	大	状	、	令	護	の	事	行	答
	殺	に	ま	い	て	況	議	し	る	国	し	は	で	臣	臣	況	私	書	局	が	局	命	弁
	さ	グ	す	う	死	下	論	ま	ん	民	な	聞	し	官	が	で	の	と	の	作	付	令	に
	れ	ズ	「	我	刑	で	が	し	で	世	い	い	よ	房	署	は	一	は	決	成	検	書	立
	て	グ		が	執	、	な	て	す	論	か	た	う	で	名	な	存	成	裁	さ	事	と	つ
	し	ズ		国	行	犯	い	は	よ	は	ら	事	か	命	し	い	で	り	を	れ	に	一	佐
	ま	し		の	を	罪	状	、	？	8	聞	が	？	令	な	と	今	得	経	ま	よ	口	伯
	っ	て		根	行	者	態	そ	「	割	こ	な	「	書	い	い	日	な	て	し	る	に	法
	たい			幹	う	の	で	の		以	え	い	が	事	う	明	い	か	て	死	い	務	
	ん	る		原	の	常	あ	是		上	な	「	滞	が	事	日	訳	ら	、	刑	い	大	
	だ	か		理	は	軌	り	非		が	い		留	わ	を	に	で	で	、	刑	執	ま	
	！	ら		に	基	を	ま	を		死	の		し	か	ご	で	あ	な	、	刑	行	す	
	「	無		背	本	逸	す	含		刑	で		て	っ	理	も	り	い		起	が		
		辜		く	的	し	。	め		に	は		い	て	解	死	ま	と		案	、		

○ 議  
おま 誰か 大  
た 誰か 大  
約 願 け  
書 届 け  
令 願 け  
伯 民 刑  
佐 伯 刑  
議 員 刑  
佐 伯 刑  
議 員 刑  
佐 伯 刑  
議 員 刑

野  
の 幕 引 死 怒 号 激 行 列 交 〃  
次 だ 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃  
怒 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃  
号 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃  
激 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃  
行 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃  
列 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃  
交 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃  
〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃  
〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃  
〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃  
〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃

○ 同・廊下

野  
の 幕 引 死 怒 号 激 行 列 交 〃  
次 だ 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃  
怒 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃  
号 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃  
激 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃  
行 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃  
列 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃  
交 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃  
〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃  
〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃  
〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃  
〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃  
〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃

○ 病院・病室

一  
帯 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃  
は 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃  
騒 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃  
然 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃  
と 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃  
す 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃  
る 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃  
〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃  
〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃  
〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃  
〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃  
〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃  
〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃

○ 羽村のマンション

死 心 対 脇 ベ 静  
亡 電 面 に ツ 寂  
し 図 の 立 ド 〃  
た は 看 っ に 横 〃  
葵 直 護 師 が 腕 時 計 〃  
の 線 士 が 腕 時 計 〃  
安 を が 書 類 に 記 入 〃  
ら 示 し て いる 〃  
か かな 横 顔 〃  
な 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃  
横 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃  
顔 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃

霧 作 精  
状 する 密  
の 羽 作  
の 村 業  
の 〃 〃 〃  
が 腕 眼  
が 噴 時 鏡  
出 計 鏡  
さ カ 型  
れ プ の  
。 セ 端  
ル 末  
か を  
ら 操



係 係 ○ 指 ○ ○ 黒 仁 黒 仁 黒  
シ長 優費親長 の自令 警 被宅台 警 同 羽 黒 田 仁 黒  
ス一 秀免を一 察 疑マ係 視 同・室 村 の 田 木 な 田 木 田  
テ会 な除殺羽 署 者ン官 庁 ・ 羽 村 の マ に一 一 連 一 一 一  
ム社 頭 `さ村 ・ 羽ヨ声 外 部中玄ド ド ツと 出 て 来 る 刑 事 た ち 。  
をを 脳就れ亘 捜 査 本 部 (日 変 わ り ) 走 中 求 連 続 殺 人 事 件 の  
米退メの職て `捜 刑 捜 査 本 部 (日 変 わ り ) 走 中 求 連 続 殺 人 事 件 の  
国職モ持はい2 査 事 部 長 揃 っ た 捜 査 会 議 。  
のしをち医る7 主 任 長 も 揃 っ た 捜 査 会 議 。  
医てす主療 ° 歳 の 係 長 が 立 っ て 説 明 。  
療 `るっ器大 ° 府 中 長 が 立 っ て 説 明 。  
器自刑てメ学府 中 長 が 立 っ て 説 明 。  
メ身事や一待生と 説 明 。  
一が ° だ一開 発 部 ° 学  
カ考 一 案 一 し た 投 却 ° 薬  
に 一 案 一 し た 投 却 ° 薬  
売 一 案 一 し た 投 却 ° 薬  
却 一 案 一 し た 投 却 ° 薬  
° 薬 一 案 一 し た 投 却 ° 薬

ハムラビ

T V 音 声 「 東 京 湾 に 迷 い 込 ん だ イ ル カ の 映 像	T 署 音 名 運 動 が 「 依 然 と し て	T お り 、 「 捜 査 局 の 新 城 容 疑 者 の 減 刑 を 求 め る	T お り 、 「 捜 査 局 の 新 城 容 疑 者 の 減 刑 を 求 め る	○ 東 京 ・ 各 所 の 実 景 （ 実 景 ご と に 日 変 わ り	北 沢 「 え 、 携 帯 電 話 で 話 し て い る 北 沢 「 私 の	○ 北 沢 の マ ン シ ョ ン （ 夜	キ 「 ヤ ス タ 「 亘 「 2 警 視 庁 を は 全 国 指 名 手 配 と す る 犯 事	○ テ レ ビ の ニ ュ ー ス 番 組 （ 夜	刑 係 長 「 あ と 「 い 「 意 気 上 が る 「 刑 事 達 「 捕 ま え ろ 「	係 長 「 羽 害 者 の 羽 村 と 新 城 の 共 鳴 し た 新 城 は 協 力 を 求 め る 「	は 3 億 円 に 相 当 な 報 酬 を 得 て い る 為 、 逃 走 資 金
--	---	---	---	---	--	---	---	---	--	---	---

○ 仁 黒 仁 黒 仁  
 木 し 認 田 い 木 田 た そ 木  
 ー か を ー か ー ー つ の ー  
 地 な し だ と て あ て 間 羽  
 味 い て か | 事 あ い ` 村  
 だ ん る ら ー は ー う 死 が  
 な だ ん こ 羽 犯 刑 行 歩  
 あ よ だ う 村 行 執 方 い  
 : ° ろ し ` 声 行 く て  
 ー | ° て 自 明 も ら いる  
 煩 ひ 身 殺 し な け せ 黒  
 わ と 元 ち い れ て 田  
 し つ 不 ちゃ ` ば ` ら 仁  
 い ず の っ っ 誰 一 木  
 が つ の っ っ 誰 か 週 °  
 な 当 自 殺 ん じ や な  
 ー た 殺 者 の 確  
 っ て の 確  
 く 確

黒田と仁木が入室、  
 担当木が入室、

○ 望 村 望 村 望 村  
 美 木 美 木 美 木  
 ー ー ー  
 あ : お  
 り お  
 が い  
 と し ハ う 見  
 ー い ム に 透  
 よ エ す か さ  
 ` ッ る 村 木 。  
 こ グ を 口 に 運 ん で 、  
 れ を 口 に 運 ん で 、

望村美木  
 ー ー ー  
 : 本 っ | 朝 修  
 : 当 て あ か 士  
 と ー に た ` ら 論  
 き ま す け ど 中 山 ぐ ん だ け じ や な  
 皆 の ア ド レ ス 知 っ て ま す か ら な  
 生 活 中 山 が ヨ ガ や り た い っ  
 ？ け ぜ そ 文 エ キ を 村  
 じ ど ミ う ` ど グ チ ン ` コ ッ サ ー で 野 菜 ジ ュ ー ス  
 や ` 後 で メ ー ル し て み る ー  
 の う 話 ` ? ー  
 中 山 が ヨ ガ や り た い っ  
 ？ け ぜ そ 文 エ キ を 村  
 じ ど ミ う ` ど グ チ ン ` コ ッ サ ー で 野 菜 ジ ュ ー ス  
 や ` 後 で メ ー ル し て み る ー

○ 村 木 の 家 ・ ダ イ ニ ン グ ル ー ム  
 を どうぞ

ハムラビ

同 週	○	○	T	○	○	T	○	○	デ	デ	黒
回僚ざ刊			前 V	定		倫 V			ス	ス	田
っーる誌	同	東	だ音	食	T	相音	同	ヨ	ク	ク	ー
て指素の	・	西	と声	屋	V	手声	・	ガ	ー	ー	検
も名顔記	学	大	かー		画	のー	休	ス	も	ご	視
、手 事	生	学	言不		面	妻不	憩	タ	う	く	報
村時配若	食	・	わ倫食	人	・	に倫望	所	ジ	情	黒	と
木間さき	堂	キ	れし事	司	ワ	刃騒美		オ	で	田	、
、のれ天		ヤ	てたし	会	イ	物動と		・	顔	と	書
同問ち才		ン	まんて	者	ド	で渦中		外	を	仁	の
僚題やか		パ	すだ	が	シ	刺さ		観	見	木	コ
のでっら		ス	けか	パ	ョ	れ高			合	、	ピ
週した連			どら	ネ	ー	、橋			わ	れ	、
刊よら続			刺	ル		重			せ	や	入
誌う、殺			さ	を		傷			る	れ	っ
のねい人			れ	使		で			。	と	て
記ーく犯			て	っ		す			い	い	ま
事らへ知			当	て		ー			う	こ	す
を逃ー			たり	い		が			表	れ	ー
チげれ				る		不					
				。能							

ハムラビ

北沢 「！」

バチバチッ！と電気音。

奥で止まり、ノックする北沢。

歩く北沢。

○ コンドミニウム・廊下

案内表示「コンテナの案内板を見る北沢」

○ 同・ロビー

降りて来る北沢。

○ 高層ビル・車回し

電話が鳴る。着信表示『羽村』

○ 北沢のマンション

望美 「！」

人影に気が付き見上げる望美。

○ 同・階段

○ ヨガスタジオ・外観

村木「今はまだ通、地訴えていくだけで

同僚「はてレビ受けいんでしよ、」

同僚「さっ講釈なかがいんせんの恋沙汰に

村木「最っぱ、」

村木「そう、」

村木「ね、」

村木「見て、」

村木「？」

村木「死に」



ハムラビ

声 村 村 ○ 声 ○ 村 メ 村 村 ○  
 刑 木 よ 木 村 ま 木 す 木 木 木 村 木  
 要 「 「 「 村 す 「 ヨ 木 「 「 「 木 の 木 村 木  
 求 村 「 「 「 木 け そ ガ 木 「 「 「 木 の 木 木 木  
 事 木 「 「 「 木 の どう ス タ 「 「 「 木 の 木 木 木  
 件 教 「 「 「 家 ・ リ す ジ オ ・ 外 腕 料 キ 私 ト ス 携 不 て 電 奥 だ 辺 村 崩  
 の 授 電 間 発 1 と ° た ・ 大 ね 丈 「 2 時 間 腕 料 キ 私 ト ス 携 不 て 電 奥 だ 辺 村 崩  
 捜 の 話 、 信 1 、 い ぶ リ 夫 | 時 間 腕 料 キ 私 ト ス 携 不 て 電 奥 だ 辺 村 崩  
 査 携 に 着 ボ 0 電 や ん ビ 夫 | 時 間 腕 料 キ 私 ト ス 携 不 て 電 奥 だ 辺 村 崩  
 本 帯 出 信 タ 、 と ダ イ ヤ ル を 押 そ う と 押 す 村 木  
 部 電 村 有 る 。 秒 間 腕 料 キ 私 ト ス 携 不 て 電 奥 だ 辺 村 崩  
 で 話 木 有 る 。 秒 間 腕 料 キ 私 ト ス 携 不 て 電 奥 だ 辺 村 崩  
 す ね ？ こ ち ら 死 ね ？ こ ち ら 死 ね ？ こ ち ら 死 ね ？ こ ち ら 死 ね ？

ハムラビ

○	○	報	○	動	○	係	○	声
同	法	道	警	画	羽	長	警	村
・	務	官	視	は	村	一	察	木
大	省	を	庁	こ	の	の	署	：
臣	・	重	・	私	犯	隠	・	！
執	外	犯	記	の	行	し	捜	の
務	観	を	者	活	声	お	査	動
室		に	会	村	明	嬢	本	画
		て	見	木	動	さ	部	チ
		、	会	教	画	ま		ヤ
		、	場	授	チ	す		ン
		、		の	ャ	か		を
		、		娘	ン	？		見
		、		を	ネ	間		て
		、		誘	ル	違		い
		、		の	に	い		る
		、		拐	は	な		こ
		、		し	目	い		こ
		、		た	隠	で		に
		、		。°	し	し		映
		、		指	よ	う		っ
		、		名	て	て		う
		、		手	い	を		て
		、		。	を	を		て











望羽 美村 「（頷き）彼は報いを受けるべきです。」

「じゃあ、私は何を押し付ける羽村。」

「（頷き）彼は報いを受けるべきです。」

「（頷き）彼は報いを受けるべきです。」

「（頷き）彼は報いを受けるべきです。」

○ コンドミニアム・部屋

望泣の北 泣き拷問の数々。目を覆うばかり

望泣の北 泣き拷問の数々。目を覆うばかり

○ 羽村の拷問モンタージュ

取調官 「もおい話。し出した。全事。で無いか？ とは

新調官 「もおい話。し出した。全事。で無いか？ とは

新調官 「もおい話。し出した。全事。で無いか？ とは

新調官 「もおい話。し出した。全事。で無いか？ とは

○ 警察署・取調室

羽望 徹底的にやりますよ。」

「（頷き）彼は報いを受けるべきです。」

「（頷き）彼は報いを受けるべきです。」



ハムラビ

望美の悲鳴。

○ 同・ロビー（夜）

秋山功（24）の男が歩いて来る。

○ 同・部屋（夜）

羽村「じゃ、よから鍵を受け取る秋山か  
おせ願「いしも逃、す「らなくいよに縛ったままか  
ふと寝室を見ろ秋山。

秋山「りよー  
か「い「退室する。  
羽山「ドの傍まで歩く秋山。

望美の両手は結束バンドで縛る。  
体「転がし、うっ伏せにさせる。  
背中「手に縛られ、望美の  
後「手に縛られ、望美の  
ベツドの傍まで歩く秋山。  
秋山「フを取る。出し、バンドを切

○ ビル・エレベーター内（夜）

大きな箱を乗せた台車。  
作業着姿の羽村が台車を押し  
てエレベーターに乗り込む。

○ ビル・階段（夜）

階段下に置かれたままの台車。  
箱の蓋は開いている。  
屋上へ続く階段を上っている  
羽村の足。肩に北沢を担いでいる。

ハムラビ

羽村は息を切らせつつ、一段一段

○ コンドミニウム・部屋（夜）

うなされて目を覚ます望美。  
秋山が覆い被さり腰を振って  
いる。逃げようと体をよじるが  
望美、逃げようとの支柱に縛られ  
両手がベッドの支柱に縛られ  
て動けない。声を出そうにも猿  
ぐつわをされて喋れない。  
秋山が獣の様な息づかいで腰  
を擦り付けて来る。悲鳴。  
望美、声にならない悲鳴。

○ ビル・屋上（夜）

意識を失ったままの北沢。手足  
を縛られ横たわっている。手  
羽村「……」

○ 東京・実景（夜）（朝）

○ 街のコインパーキング

停車しているワゴン車。

○ ワゴン車・車内

作業台に固定された腕時計型  
の端末。デジタル表示。腕時計型  
の小さなセンサー基盤を手首の  
血管が見える所に置く羽村の  
端末のデジタル数値が脈拍に  
連動してカウントされる。

○ コンドミニウム・部屋

ハムラビ

○ビル・屋上

秋山はテレビゲームでゾンビを撃ちまくっている。急いで上着を降りして胸を隠す望美。望美の手のロープを解く秋山。胸があらわになっている。コロンビ弁当をベッドに置き、胸がある望美。上着がまくれて、ベットの四隅に手足を縛られ、チーン。と電子レンジの音。秋山にレイプされている望美。

○法務省・記者会見室

佐伯法務大臣がマイクの前に

羽北羽 羽北羽 羽北羽  
か料う村沢一村 が村沢の村  
わをねーー定ー、ー具ー  
か補。養：で痛 一葉：合ど  
ら給|鶏頼はみ 日の(はう  
ぬし生場むなの 二代う?で  
北と激にきてのおも。い持ふ日わめーすち鳥皿小屋屋  
沢、痛来てまた爺さ赦、間北沢致死量になりま  
、去にますらさんそくし薬の表情がやわらぐ。  
絶つ怯え。その後にまた、たでしよ  
望の行く下さい、いっ来る  
情。さい、いっ来る



ハムラビ

秋山 「？！」

「ながらニヤニヤ笑う秋山。その後ろのソファに座りハンバチバチ！電撃音がする。バチバチ！電撃音がする。と、住田が倒れている。」

望美 「……」

電撃音。倒れる秋山。羽村がスタンガンを持って立っっている。ベツドに座っていた金子、咄嗟に性具を持って、羽村に襲いかかる。が、電撃音と共に倒れる。

○ コンドミアム・バスルーム

シヤワミを浴びる望美。シヤワミを浴びる望美。

○ 同・寝室

ベツドの上で丸まる望美。ノツク音。ドアが開く。望美。望美、身を縮ませ体が強張る。入室して考える羽村。は私の考えの賛同者でした」

望羽 望羽  
美村 美村  
「信用し過ぎたようです。――申し訳ない」

抱えた膝に顔を埋める望美。そつと近づき、ベツドの縁に座る羽村。ビクッと身を固くする。羽村はトントンと肩を叩き、背中と頭をそっと撫でてベツドを離れる。泣く望美。

ハムラビ

- 東西大学・キャンパス
- 村木の自宅・リビング  
 『揭示板に休講のお知らせ。』  
 『村木教授の講義、ゼミは当面、休講と致します』
- 村木の自宅・リビング  
 塞ぎ込む村木。
- コンドミアム・寝室  
 ベッドの上で塞ぎ込む望美。
- 村木の自宅・リビング  
 望美に寄り添う羽村。
- 記事「佐伯元任一面の記事は新法務大臣の就任について」  
 67)は就任会見において、『死  
 刑執行命令書には厳正な検討がされた後に  
 刑務執行署名にしていく』と説明している  
 村木。インターホンに対応している
- 東京・実景
- 東京拘置所・外観
- 同・廊下  
 歩いている死刑囚。
- 同・地下一階・刑場  
 目隠しされている死刑囚。  
 刑務官がアコーデオンカーテ

○ デ 係 デ 係 デ 係  
 ス 思 だ だ 長 ス だ 長 か ス っ 仇 長  
 コ ク う か ろ う ー ク ° ー ら ク て を ー  
 ン ー か ら ° な マ ー | 笹 順 ー ん 死 何  
 ド : ? ` 村 ん ス え こ 塚 次 ー の 刑 ` 考  
 ミ し ー は 木 て コ え れ 事 執 応 か に 考  
 ニ な い の 言 ミ ー ` 件 行 ` ? す え 新 係 デ 刑  
 ア い 解 娘 い 連 新 の す 前 ー り て 聞 長 ス 事  
 ム で 放 誘 出 中 城 再 る の や ん を が ク 達  
 ・ し し 拐 す は の 審 方 大 ` だ チ 入 担 が  
 部 よ ま し し こ 嫁 請 針 臣 大 法 ラ 室 ° 刑 事 が 新 聞 を 読 む 。  
 屋 う す と : れ さ 求 だ が 人 務 リ ° 刑 事 が 新 聞 を 読 む 。  
 ー ` て | 事 襲 棄 か し 何 止 る 中 ` 羽 も 村 の  
 な ` 終 件 っ 却 何 止 る 中 ` 羽 も 村 の  
 ん 目 わ は た さ と め か た ー た 案 件  
 て 的 る 幕 奴 れ た ー だ ろ そ ー う  
 す 達 訳 引 だ ろ そ ー う  
 る 成 ね き だ  
 と し え だ

○ 捜 査 本 部

見 横 ビ 視 悲  
 え 顔 ル 線 鳴  
 る は か の を  
 ° 何 ら 先 上  
 故 飛 は げ  
 か び は 北 沢 の 歩 行 者 ° 悲  
 ホ 降 り の 死 体 ° 悲  
 ツ り の 死 体 ° 悲  
 と し ま れ の  
 た み れ の  
 顔 の

○ ビ ル 街 ・ 歩 道

悲 ド そ 床 に 刑 が ン  
 鳴 | の 板 か 務 ぶ を  
 ° ン 瞬 が け 官 が 下 く °  
 ! 間 ` け ° ロ ー プ を 死 刑 囚 の 首  
 と 落 暗 転 | 死 刑 囚 が 落 ち ち る °  
 下 音 | 死 刑 囚 が 落 ち ち る °

望羽  
美村  
「」  
：  
：  
「」

羽村にキスをする望美。  
結末バンドで両手を縛られた  
ま、激しく求める望美。  
望美、（日変わり）  
た望美、片手だけセップで縛られ

ベツドに倒れ込む二人。  
縛られたままの両手で力一杯  
腰を上げ、去ろうとする羽村。  
頭を撫でる羽村。  
望美に寄り添い背中をさすり、  
ベツドの上に座っている望美。

○ 同・寝室  
（夜）  
「」  
日変わり  
（夜）

望美、ゆっくと咀嚼する。  
望美、微笑む。望美。  
望美の口に食物を運ぶ羽村。

○ 同・部屋

ベツドの上で塞ぎ込む望美。  
その隣に座る羽村、望美の背  
を優しくさする。

○ 同・寝室  
（夜）

暴れる羽村。望美を両手で抱きすく  
める羽村。  
が、羽村に止められる。  
自分の喉元が刺さる。  
望美の卓上のフォークを取り、  
望美の口に食物を運ぶ羽村。  
膝の上に乗せ、座っている望美。  
結末バンドで縛られた両手を



ハムラビ

村電 村  
木話 木  
「の 「  
：声 ？  
：「 ！  
羽お 「  
村久急  
？しいで  
！ぶで電  
「り電話  
で話に出  
すにる村  
「出木。

○ 同・リビ  
ング  
着村  
信木の携  
相手の帯  
の表示電  
は「望美」

黒車 玄  
田し 関  
とて か  
仁 いる  
木 少  
が 離  
乗 車  
っ 了  
て 道  
い 路  
る には  
。 駐

○ 村木の家・外観

るバ 奥  
とチ ー  
共バ 羽  
にチ 村  
悲 ！  
鳴 と  
が 電  
響 撃  
く 音  
。 が  
聞 聞  
こ こ  
え え

望美 「  
：  
：  
」

いテ 望  
てー 美  
あるブル コ  
。ツ  
には プ  
スタ を  
ン運  
ガン 来  
が 着  
置 いる。

秋山 秋  
と金 山  
子、 山  
住 子  
田 住  
が 田  
手 住  
足 田  
を 田  
結 手  
束 足  
を を  
結 束  
束 束

○ 同・部屋（朝）

と望 望  
激美  
しく、  
縛  
セ 日  
ッ 変  
ク わ  
ス ー  
。 り  
い 状  
状 態  
態 羽  
で 村

ハムラビ

黒 確 か め ろ ー 。  お 前 、 先 に 行 っ て 村 木 の 行 き 先	○  車 内    正 面 玄 関 へ 向 か う 。 降 り る 村 木 。	○  同 ・ 正 面 玄 関 前 の 駐 車 場	○  高 層 ビ ル ・ 外 観  コ ン ド ミ ニ ア ム の あ る ビ ル 。	○  そ 村 れ を 黒 田 達 の 車 が 尾 行 す る 。	○  街 中 ・ 道 路  か 、 そ れ 、 え ん だ よ ー	仁 木 ー 何 で す か 、 ト も ね ん だ よ ー	黒 木 ー デ モ も も 認 し て か ら で い ー	仁 木 ー 行 き 先 も 確 認 し て か ら で い ー	黒 木 ー し よ か 、 は く 方 で す ね 。 本 部 に 連 絡 し	仁 木 ー ど 学 、 行 く だ ら す ね 。 本 部 に 連 絡 し	仁 木 ー ど あ 、 出 し て 来 ま し た ー が 出 て 来 る 。	○  車 内    運 転 席 に は 黒 田 。 助 手 席 は 仁 木 。
---	--	--	---	--	--	---	---	--	--	---	--	--

仁木「はい車」

黒田「俺もい車」  
仁木「降ろし、すぐ発車する。」

○ コンドミニウム・ロビー

フロントの受付嬢と話をして  
いる村木。  
受付嬢はエントランスを示す。  
村木、エントランスのセキュリティ  
カメラ前で部屋番号  
を押し。  
遠く様子を見ている仁木。  
エントランスドアが開き、村木  
が入って行く。  
仁木、フロントへ急ぐ。

○ 同・エレベーター

焦れた表情で階数表示を見る  
村木。

○ コンドミニウム・ロビー

受付嬢に警察手帳を見せてい  
る仁木。

○ 地下駐車場

停まって自動車を。  
慌てて出て来る黒田。  
走る黒田。

○ コンドミニウム・部屋

唾然とした顔の村木。  
そこには手足を縛られたまま  
ソファに座る秋山、金子、住田。  
それぞれ酷い拷問の後が顔や  
体に付けられている。



<p>テ縛金ソ ーら子フ ブルた。ア をま隣の座 挟んで椅子 カメラはに が村木住 設が田、</p>	<p>○ コンドミニアム・2201号室内</p>	<p>一 同 「 : : 」</p>	<p>が見え。その首には黒い焼焦げ</p>	<p>刑 事 3 「 右 端</p>	<p>反らせ、その首には黒い焼焦げ</p>	<p>刑 事 2 「 : 何</p>	<p>モニタ、住田、金子が写る。</p>	<p>刑 事 1 「 進 展 あ</p>	<p>なんだ、これ」</p>	<p>刑 事 1 「 進 展 あ</p>	<p>本！に集まる。刑事達、一斉にモ</p>	<p>○ 捜査本部</p>	<p>が驚愕の表情。監視している刑事</p>	<p>望 美 「 : : 」</p>	<p>と、水で飲み下す。含み、コッ</p>	<p>羽 村 木 村 「 : : 」</p>	<p>んもお願ひします」</p>	<p>羽 村 木 村 「 : : 」</p>	<p>と、腕時計のスイッチを押す。</p>	<p>羽 村 木 村 「 : : 」</p>	<p>と、腕時計を見ながら、S A T</p>	<p>○ 黒田 同・部屋</p>	<p>「何してんだよ、仁木！」</p>
--	--------------------------	------------------------------------	-----------------------	--------------------------------	-----------------------	--------------------------------	----------------------	--------------------------------------	----------------	--------------------------------------	------------------------	---------------	------------------------	------------------------------------	-----------------------	--	------------------	--	-----------------------	--	-------------------------	----------------------	---------------------

ハムラビ

羽村 羽村 羽村 羽 望羽 望村 望村 望村 望 村望 羽村 羽 村 羽  
 思村 木村 木村 木村 ね村 た美村 美木 て美木 美木 美 木美 とた村 木ベ で村 望木 招時 村  
 つ「「「「る「「ば「の「改造「「来「「「「「「「は「「きし「美「待じ「  
 てそ：「「「「私償なそ。お「羽もた酷：酷望私「？私そ死教：だよそに殺しまな本  
 まん：「「「「死はまて「「さい。事「事：殺「「て執は「と？は手なしの  
 すな「「「「よ刑刑せ、私、ソとんいそをさ？し黒ソ「行死「人いをらたか警置  
 「教「「「「か決所「も人殺しなさい。赦せなかつ「「者ぬ「をき出殺「と察さ  
 授「「「「？「受けたらば「「すき。でそは「は私く。てす。置  
 に「「  
 、私を殺してもらおうと「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「  
 「「「











ハムラビ

	村望	村望	村望	村望	羽望	村望	羽望	村望	羽望	村望	羽望	村望	羽望	羽望	羽望	羽望	羽望	羽望	羽望
	木美	木美	木美	木美	木美	木美	木美	木美	木美	木美	木美	木美	木美	木美	木美	木美	木美	木美	木美
	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「
	助	も	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望
	か	う	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望
	っ	大	美	美	美	美	美	美	美	美	美	美	美	美	美	美	美	美	美
ド	村	丈	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望
ン	木	夫	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望
!	に	だ	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望
ド	向	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望
ン	け	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望
!	る	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望
ド	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望
ン	美	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望
!	る	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望
と	、	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望
銃	を	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望
声	、	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望
。	、	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望	望

ハムラビ

胸を撃たれ血に染まる村木。

村木「のぞ、み：？」

望美「杜子春は仙人になりたかったんだって」

望美「でも、言いつけを頑なに守って母親を

見殺しにしたら、仙人は杜子春をどうす

村木「つもりだっただった？」

（絶命）」

S A T が到着。望美を確保する。

○ 東京拘置所・独房・日変わり

座っている新城。

ラジオ音声「本日も、笹塚事件の犯人・石塚誠

の死刑執行が、

新城「あ」と

新城「あ」と

新城「あ」と

新城「あ」と

新城「あ」と

新城「あ」と

新城「あ」と

新城「あ」と

新城「あ」と

新城「あ」と

新城「あ」と

新城「あ」と

新城「あ」と

新城「あ」と

新城「あ」と

新城「あ」と

新城「あ」と

新城「あ」と

新城「あ」と

新城「あ」と

新城「あ」と

新城「あ」と

新城「あ」と

新城「あ」と

新城「あ」と

新城「あ」と

新城「あ」と